

平成 23 年度は、歴代陸海軍大臣の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

《 宇垣 一成 1868～1956年 》

一日露戦争で勲功を上げ、軍備整理により 4 個師団を廃止した陸相一



歩兵少佐 宇垣一成 勲績明細書

(登録番号：大日記一大本営一日露戦役-M38-24-137)

宇垣一成大將は、明治 24 年 3 月、陸軍少尉に任官、その後、参謀本部第 1 部長、陸軍大学校長、第 10 師団長、陸軍大臣、朝鮮総督等の要職を歴任しました。この史料は、同大將（当時少佐）の日露戦争における「勲績明細書」（明治 38 年 10 月 16 日付）です。大本営陸軍参謀次長の長岡外史少将名で「大本営陸軍幕僚附トシテ在職中精勵克ク其ノ職責ヲ盡シ作戰上ニ於ケル勲績多大ナリ仍テ勲功甲者ト確認ス」と記述されています。日露戦争における勲績は「明治三十七八年戦役勲績調査規定」に基づき、殊勲、勲功、勲勞、功勞の等級（各等級は甲～乙、甲～丙、甲～丁などに区分）に分けられて論定されました。



大正 14 年軍備整理要領、同細則制定の件

(登録番号：陸軍省一軍備整理-T11- 1-58)

大正 14 年、宇垣大將は陸軍大臣として軍備整理（いわゆる宇垣軍縮）を実施しました。この史料は、大正 14 年 3 月 27 日付「大正十四年軍備整理要領」です。第 1 条に「本要領ニ依リ陸軍平時編制ノ改正ニ伴フ各部隊ノ新設、廢止、稱號變更及編制改正等ノ整理ヲ實施ス」とあり、第 3 条で「著手順序表ヲ以テ示スモノノ外ハ大正十四年五月一日之ヲ行フ」と実施時期が示されています。この軍備整理によって第 13・第 15・第 17・第 18 師団等が廃止され、代って第 1 戦車隊、高射砲第 1 連隊、陸軍通信学校等を新設、また航空部隊においては飛行大隊を飛行連隊とするなどの編制改正が行われました。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

- ※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。
防衛研究所企画部企画調整課
専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）
外線：03-3713-5912
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp
- ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>